

学習の様子【ICT 機器の活用】（3月号）



小低 きらのびグループ

【自立活動(個別学習)】

個々に応じた ICT 機器を使い、玩具や道具の操作をすることを通して、表現する意欲や力を高めることをねらいとして課題に取り組んでいます。

棒スイッチを使い、タンバリンを鳴らしました。音が鳴ると、笑顔になる様子がみられました。

視線入力機器を使用し、絵を描きました。色がつく様子をよく見ていました。



小高 みもぎグループ

【自立活動(朝の会)】

朝の会では、「歌係」「予定発表」等、それぞれの役割に応じて取り組んでいます。スイッチを押して、歌う合図をしたり、タブレット端末を使用して一日の予定を発表したりしています。

机の上のスイッチを手掛かりに、「せーの」と入った声を聞いて歌い出しの合図をしています。

手指等で触ると画面が変わるようにしたことで、自分の役割を認識して取り組んでいます。



中学部 B グループ

【国語(自分のことを伝えよう)】

平仮名の学習を通して、自分の気持ちを表現する能力を育成することを目指しています。文字盤やタブレット端末等を使用し、生徒が主体的に表出できるように工夫しています。

文字を指差し、目で追ったり、発声したりして、文字と音声を結び付けながら一文字ずつ確認します。

自分や友達の名前、名詞などを入力します。読み上げ機能を使用し、音声を聞き取りながら文字の理解を深めます。



高等部 B グループ

【数学(図形)】

図形の学習を通して、形を理解することを目指しています。身近な物を教材にすることで、日常生活に汎化させることや、電子黒板を使用することで視覚的に分かり易くなるように工夫しています。

タブレット端末を使い写真を撮ることで、身近にある丸や四角の図形を教室に戻って確認することができます。

電子黒板を使用することで、画面を良く見て注視する力がついてきました。

